

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 1 年 6 月 24 日

京都府知事 様



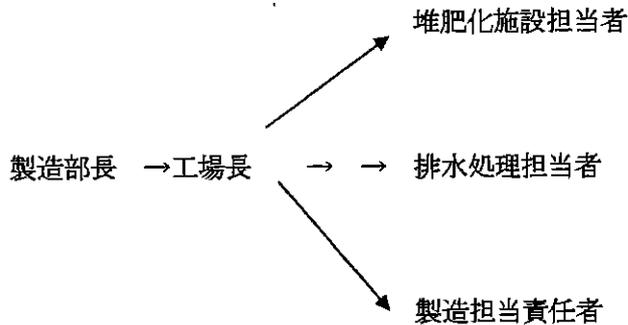
提出者 京都府京都市下京区西中筋通七条上ル菱屋町150-1
 住 所 株式会社 西利
 氏 名代表取締役社長 平井誠一
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 075-361-8181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 西利 あじわいの郷工場
事業場の所在地	京都府京丹後市弥栄町木橋
計画期間	令和元年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	野菜漬物製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 5,050百万円
③ 従業員数	91人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動植物性残さ → 自社処理・堆肥化 → 堆肥化・圃場へ還元 排水処理汚泥 → 工業汚泥・肥料化 → 肥料化・圃場へ還元 廃プラスチック → 中間処理業者・焼却 → 埋め立て処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック
	排 出 量	1,020 t	106.37 t
	(これまでに実施した取組) 入荷前の事前打ち合わせにより、規格の野菜入荷と適正な入荷数量、野菜の使用用途変更で廃棄物の減少に努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック
	排 出 量	1,100 t	80 t
	(今後実施する予定の取組) 入荷前の事前打ち合わせにより規格の野菜の入荷と適正な入荷数量で廃棄物の減少に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 野菜残さ・廃プラスチックの分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 野菜残さの堆肥化継続 堆肥と工業肥料の混合でより良い肥料化

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	214.5 t	t
	(これまでに実施した取組) 工場から出た排水処理汚泥を工業肥料としてすべて再生利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	工業汚泥肥料	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥と工業肥料の混合でより良い肥料の実用化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,020 t	t
(これまでに実施した取組) 動植物性残さについてはすべて自社処理・堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,100 t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	106.37 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	106.37 t	t
	再生利用業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	80 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	80 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			